



# あのとときの常呂・写真館

VOL 132

(1986年)

昭和61年8月4日

## 常呂高校に道知事から観光地美化等実践感謝状

▶常呂高校が昭和59年から続けている「クリーンアップ・ワッカ」の活動に対して、観光地美化等実践感謝状と記念品が贈られました。「広報ところ」9月号をご覧ください。



感謝状を手にする生徒会役員と五十嵐校長

道立常呂高校（五十嵐弘校長 生徒数百七十二人）に、このほど道知事から「観光地美化等実践感謝状」と記念品が贈られました。  
この感謝状は道商工観光部が主催するもので、道内の観光地美化の実践活動を行い、他の模範と認められる団体や個人に対し、贈呈されるものです。  
常呂高校では、昭和五十九年

### 「クリーン・アップ・ワッカ」実る —常呂高校に知事から感謝状—

からワッカ原生花園の美しさを自分たちの手で取りもどそうと毎年、生徒、先生らが「ワッカ」を合言葉に自発的に清掃実践活動を展開してきました。これらの実績が認められ、今回の受彰となったものです。八月四日、網走支庁で伝達式があり、近藤泰教頭と佐々木政



今年は雨の中での清掃活動でした。ごくろうさま！

敏生徒会長が代表して出席、感謝状と記念品を持ち帰り、十八日、同校の始業式で紹介されました。  
今年、雨の中での清掃活動だっただけに、今回の受彰で、喜びもひとしおといったところ。これからも更に、自主的な活動を続けていきたいと話していました。



●このページの写真は、昭和62年6月25日に行ったクリーンアップ・ワッカの活動です。『常呂高等学校40年史』によると、昭和49年9月20日に第1回の「援農遠足」が行われ、昭和59年7月20日に、援農遠足の代わりとしてこのワッカ・クリーンアップ活動が始まりました。●「広報ところ」の記事では、平成2年まではワッカの海岸沿いにゴミ拾いが中心で、平成4年の記事からは、ワッカ原生花園のヨモギなどの雑草抜きに活動が移行していることが確認できます。●平成3年4月29日のワッカネイチャーセンター・オープン、ワッカ地域への一般車両乗り入れ規制など、ワッカの自然保護を打ち出した常呂町の考え方が背景にあった可能性があります。●このクリーンアップ・ワッカ活動は、平成12年度以降、高齢者のオホーツク大学と共同で行うことになり、より一層活動が深まりました。●常呂高校のこうした活動も評価の対象の一つとなり、平成13年

10月22日にワッカ原生花園が「北海道遺産」に選定されました。平成13年11月号の「広報とことろ」では、ワッカ原生花園が北海道遺産に選定された経緯と理由、常呂高校の校長と前生徒会長がワッカの自然とクリーンアップ・ワッカ活動への思いを述べています。



\*この5枚の写真は、平成12年、13年の  
クリーンアップ・ワッカ活動

